

令和元年度（2019 年度）

市政モニター

第2回アンケート結果

テーマ1 ごみ減量・資源化に向けた取り組みについて

資源循環部 ごみ減量対策課

テーマ2 クリエイトホールの利用状況等について

生涯学習スポーツ部 学習支援課

テーマ3 市・都民税出張申告受付等について

税務部 住民税課

テーマ4 市長との対話集会について

総合経営部 広聴課

八王子市

あなたのみちも、
あるけるまち。



目 次

《市政モニターの属性》	1
-------------	---

テーマ1 ごみ減量・資源化に向けた取り組みについて

問1	ごみ排出量の少ない自治体ランキング全国1位を達成したことを知っているか	2
問2	住まいとごみの出し方	2
問3	家庭で各品目のごみを出す頻度	3
問4	ペットボトルを市の回収に出す際に、キャップとラベルをはずしているか	7
問5	「樹木の枝」を資源化することにした場合に、家庭での保管に協力できるか	7
問6	ごみ・資源物を出す曜日を変更した場合に困ることはあるか	8
問7	家庭で生ごみを減らすために実践していること	9
問8	参加したことのあるごみ減量・資源化のための啓発活動	10
問9	ごみ・資源物の分別方法が分からない時にどう対処しているか	11
問10	収集カレンダーの良い点や改善が必要な点	12
問11	ミクロネシア連邦チューク州への技術支援を知っているか	14
問12	市が海外のごみ問題改善に向けた支援をすることをどう思うか	14
問12-1	賛成の理由	15
問12-2	反対の理由	16
問13	ごみの減量・資源化のために、取り組んでいることや市に取り組んでほしいこと	17

テーマ2 クリエイトホールの利用状況等について

問1	クリエイトホールの所在地についてどう考えるか	21
問2	クリエイトホール内で知っている施設	22
問3	クリエイトホール内で利用したことがある施設	22
問4	生涯学習センターを利用した目的	23
問5	生涯学習センターについてどのような印象を持つか	24
問6	利用している市内の学習関連施設	25
問7	学習活動や文化芸術活動ができる施設が市内に整っていると思うか	25
問8	学習関連施設を利用する際に何を重視するか	26
問9	クリエイトホールの今後のあり方についてどう考えるか	26
問10	クリエイトホールをより多くの市民に利用されるような提案	27

テーマ3 市・都民税出張申告受付等について

問1	市民税・都民税の出張申告が行われていることを知っているか	29
問2	市民税・都民税申告の際、出張申告を利用したことがあるか	30
問2-1	利用した、または利用してみたいと思う理由	30
問2-2	利用しない、また利用したいと思わない理由	31
問2-2-1	本庁申告を利用する、または利用したい理由	32
問3	市民税・都民税申告書を郵送で提出できることを知っているか	32
問4	市民税・都民税申告書を郵送で提出したことがあるか	33
問4-1	提出した、またはしてみたいと思う理由	33
問4-2	提出したことがなく、してみたいと思わない理由	34
問5	「確定申告書」を市民税・都民税出張申告の会場で提出できることを知っているか	35
問6	「確定申告書」を市民税・都民税出張申告の会場で提出したことがあるか	35
問6-1	提出した、またはしてみたいと思う理由	36
問6-2	提出したことがなく、してみたいと思わない理由	36

テーマ4 市長との対話集会について

問1	市長と直接対話をする方法として、参加しやすいと思う形式	38
問2	テーマを決めて実施する場合、関心があるテーマ	39
問3	若い世代から市政への提言等をいただくには、どのような工夫が必要か	40

市政モニターの属性

(太枠内は今回の回収数)

全 体		郵送		インターネット		合計	
		51	50	49	47	100	97
性 別	男性	22	22	29	28	51	50
	女性	29	28	20	19	49	47
年 代	18歳～29歳	6	6	6	6	12	12
	30歳代	7	7	9	7	16	14
	40歳代	9	9	14	14	23	23
	50歳代	9	9	9	9	18	18
	60歳～64歳	8	8	1	1	9	9
	65歳以上	12	11	10	10	22	21
地 区	中 央 (本庁地区)	10	10	9	9	19	19
	西南部 (浅川・横山・館地区)	10	10	7	7	17	17
	東 部 (由木・由木東・南大沢地区)	8	8	12	12	20	20
	西 部 (元八王子・恩方・川口地区)	11	11	5	3	16	14
	東南部 (由井・北野地区)	6	6	12	12	18	18
	北 部 (加住・石川地区)	6	5	4	4	10	9

(定員は100名)

※ アンケート実施期間：令和元年（2019年）11月8日から令和元年（2019年）11月22日まで

※ 回収率：97%（小数点第2位を四捨五入）

※ 回答は各質問の回答者数(n)を基数とした百分率(%)で表示した。（百分率は、小数点以下第2位を四捨五入して算出してあるため、合計が100%にならない場合がある。また、複数回答の場合は、回答比率の合計が100%を超える場合がある。）

※ 割合の表現については、以下の表記を基本とする。

<例>

表記	4割	約4割	4割強	4割台半ば	5割近く	5割弱
割合	40.0%	40.1～40.9%	41.0～43.9%	44.0～45.9%	46.0～48.9%	49.0～49.9%

※ 自由記述の表現はできる限り原文のまま記載しているが、アンケート全体で統一するため、一部表現を修正している。また、特定の個人、団体への誹謗中傷につながる内容や企業の営業活動に影響するもの、根拠が明確でないものなどは、一部削除・修正した。

テーマ1 ごみ減量・資源化に向けた取り組みについて

資源循環部 ごみ減量対策課

市では、平成31年（2019年）3月に八王子市ごみ処理基本計画「循環型都市八王子プラン」（計画期間10年間）を策定し、市民・事業者の皆様との協働により、ごみ減量・資源化に取り組んでいます。

さらなるごみ減量・資源化に向け、市政モニターの皆様のご意見を伺い、事業に活用していきます。また、国際協力事業（海外での技術支援）についてのご意見をお聞かせください。

問1 市は、市民・事業者の皆様のご協力により、ごみ排出量の少ない自治体ランキング全国1位（環境省発表・人口50万人以上の都市・平成29年度（2017年度）実績）を達成しました。このことについて知っていますか。（○は1つだけ）

（n=97）

	構成比（%）
知っている	32.0
知らない	68.0

ごみ排出量の少ない自治体ランキング全国1位（環境省発表・人口50万人以上の都市・平成29年度（2017年度）実績）を達成したことを知っているか聞いたところ、「知っている」が3割強（32.0%）、「知らない」が7割近く（68.0%）であった。

問2 あなたのお住まいとごみの出し方は、次のうちどれにあてはまりますか。

（○は1つだけ）

（n=97）

	構成比（%）
戸建住宅で、ごみ・資源物収集カレンダーの決められた日に出す	53.6
集合住宅（アパート、マンション、団地など）で、ごみ・資源物収集カレンダーの決められた日に出す	27.8
集合住宅で、いつでも出すことができる	18.6

住まいとごみの出し方を聞いたところ、「戸建住宅で、ごみ・資源物収集カレンダーの決められた日に出す」が5割強（53.6%）と最も多く、次いで「集合住宅（アパート、マンション、団地など）で、ごみ・資源物収集カレンダーの決められた日に出す」が3割近く（27.8%）であった。

問3 市では、以下の品目について、2週間に1回の回収を行っています。あなたのご家庭はどのくらいの頻度で出していますか。市の回収に出していない場合は、その理由をご記入ください。（品目ごとに○は1つだけ）

※枠内の数字は百分率（％）で表示。 は項目内で最高値。（n=97）

品目	2週に1回程度	月に1回程度	出すまでに 2ヶ月以上 かかる	市の回収には 出していない	無回答
不燃ごみ	33.0	25.8	40.2	1.0	0.0
有害ごみ	19.6	20.6	55.7	4.1	0.0
雑誌・雑紙・ 紙パック	50.5	28.9	9.3	11.3	0.0
新聞	10.3	17.5	6.2	64.9	1.0
ダンボール	36.1	39.2	14.4	9.3	1.0
びん	46.4	38.1	11.3	4.1	0.0

品目	2週に1回程度	月に1回程度	出すまでに 2ヶ月以上 かかる	市の回収には 出していない	無回答
缶	59.8	22.7	8.2	9.3	0.0
ペットボトル	72.2	12.4	4.1	11.3	0.0
古着・古布	8.2	15.5	61.9	14.4	0.0

※ 市の回収に出していない場合の理由は次頁に掲載

【市の回収に出していない理由】

品目	市の回収に出していない理由
有害ごみ	○出すことがない。
雑誌・雑紙・紙パック	○業者に出している。 ○雑誌や紙パックのごみがないため。 ○業者やスーパー等の店頭回収に出している。 ○集団回収に出している。 ○自治会の委託している業者に出している。 ○子供会の回収に出している。 ○燃えるゴミに纏めて出す。 ○町会の集団回収に出している。
新聞	○新聞を取っていないから。 ○業者に出している。 ○新聞販売店の回収に出す。 ○子供会へ出している。 ○集団回収に出している。 ○自治会の資源回収に出している。 ○町会の集団回収に出している。 ○小学校関係団体が回収に来る。 ○家庭内でリサイクル。
ダンボール	○業者に出している。 ○スーパーの店頭回収。 ○子供会の回収に出す。 ○集団回収に出している。 ○子供会の回収に出している。 ○町会の集団回収に出している。 ○自治会の資源ごみに出している。
びん	○自治会で回収。 ○業者やスーパー等の店頭回収に出している。 ○町会の集団回収に出している。

品目	市の回収に出していない理由
缶	○自治会で回収。 ○業者やスーパー等の店頭回収に出している。 ○子供会の回収に出している。 ○町会の集団回収に出している。
ペットボトル	○スーパーの店頭回収に出している。 ○事業者が BOX を準備し、そしてポイントがつく。 ○ペットボトルの商品を買わないので出さない。
古着・古布	○古着屋さんに売っている。 ○知り合いのリサイクルマーケットに出している。 ○知人にあげている。 ○出すことがない。 ○可燃ごみとして処理。 ○集団回収に出している。 ○ブックオフなどで買い取ってもらっている。 ○衣替えや年末などにまとめて出す。 ○自治会の委託している業者に出している。 ○子供会の回収に出している。

問4 ペットボトルを市の回収に出す際は、キャップとラベルをはずしていただくようお願いしていますが（※）、あなたのご家庭では実践していますか。（○は1つだけ）

（n=97）

	構成比（%）
している（キャップもラベルも外している）	86.6
キャップのみ外している	6.2
市の回収には出していない	3.1
ラベルのみ外している	2.1
出し方を知らなかったためしていない	1.0
出し方を知っているがしていない	1.0

（※） ペットボトルのキャップとラベルの出し方

はずしたキャップとラベルは、容器包装プラスチックとして出してください。

ペットボトルを市の回収に出す際に、キャップとラベルをはずしているかを聞いたところ、「している（キャップもラベルも外している）」が9割近く（86.6%）と最も多く、次いで「キャップのみ外している」が1割近く（6.2%）であった。

問5 ご家庭の「樹木の枝」は、現在、可燃ごみと一緒に収集し、清掃工場で焼却処理しています。この「樹木の枝」を資源化することを検討していますが、資源化するためには、可燃ごみとは別に収集し、収集頻度を現在の週2回から、隔週（2週間に1回）または、月に1回に変更する可能性があります。この場合、ご家庭での保管に協力していただけますか。（○は1つだけ）

（n=97）

	構成比（%）
樹木の枝が出ない（庭がない、集合住宅に住んでいるなど）	40.2
月1回でも協力できる	36.1
隔週（2週間に1回）の場合、協力できる	21.6
どちらの場合でも協力できない	2.1

「樹木の枝」を資源化するため、収集頻度を隔週（2週間に1回）または、月に1回に変更した場合、家庭で保管に協力できるか聞いたところ、「樹木の枝が出ない（庭がない、集合住宅に住んでいるなど）」が約4割（40.2%）と最も多く、次いで「月1回でも協力できる」が4割近く（36.1%）であった。

問6 市は令和4年度（2022年度）に予定されている新館清掃施設の稼働、北野清掃工場の停止などに伴い、ごみ・資源物の効率的な収集を目指して、市内全域でごみ・資源物を出す曜日の変更を検討しています。曜日の変更があった場合、お困りになることはありますか。「ある」を選んだ方はその品目と理由をご記入ください。

（○は1つだけ）

（n=97）

	構成比（%）
ある	4.1
ない	95.9

ごみ・資源物を出す曜日を変更した場合、困ることがあるかを聞いたところ「ない」が9割台半ば（95.9%）であった。

【困ることが「ある」 品目と理由】

品目	理由
可燃ごみ	○曜日を覚えてしまったから。 ○現在のリズムで、買物パターンが決まっているから。 ○土日に家の片付けをして出たゴミや休みの日は料理で出る生ごみが増える為、今まで通り月曜日に出したい。集合住宅に住んでいる為、生ごみを室内に置いているので臭いがあり早く出したい。
品目無回答	○種目別に出す日にちを覚えなおす必要があるから。

問7 あなたのご家庭で生ごみを減らすために実践していることは何ですか。

(○はいくつでも)

(n=97)

	構成比 (%)
必要な量だけ買うようにしている	78.4
買い物前に冷蔵庫の中身チェックをしている	50.5
外食時に食べきれる量を注文するようにしている	45.4
生ごみをひとしぼりして水気を切っている	41.2
食材にあった保存方法を工夫している	27.8
野菜の皮や芯などもなるべく捨てずに調理するようにしている	18.6
特に何もしていない	7.2
ダンボールコンポストなどの生ごみ処理機(※1)を利用した生ごみのたい肥化	6.2
フードバンク(※2)などに寄付をしている	2.1

(※1) 生ごみ処理機

ご自宅で生ごみを減量・処理するための機器で、市では購入した方に対し、補助金を交付しています。

(※2) フードバンク

安全に食べられるのにご家庭で余っている食品を寄贈していただくなどして集め、必要としている施設や団体、困窮世帯に無償で提供する活動です。

生ごみを減らすために実践していることを聞いたところ、「必要な量だけ買うようにしている」が8割近く(78.4%)と最も多く、次いで「買い物前に冷蔵庫の中身チェックをしている」が約5割(50.5%)であった。

問8 市ではごみ減量・資源化のため様々な啓発活動を行っていますが、次のうち参加したことがあるものはどれですか。 (○はいくつでも)

(n=97)

	構成比 (%)
特になし	84.5
施設見学 (清掃工場等)	7.2
イベントでのブース (環境フェスティバル、フラワーフェスティバル等)	6.2
地域行事でのブース (市民センターまつり等)	2.1
出前講座	1.0
生ごみたい肥化 (ダンボールコンポスト等) の講習会	0.0

参加したことがある市のごみ減量・資源化のための啓発活動を聞いたところ、「特になし」が8割台半ば (84.5%) と最も多く、次いで「施設見学 (清掃工場等)」が1割近く (7.2%) であった。

問9 ごみ・資源物の分別方法が分からない時、どう対処していますか。

(○はいくつでも)

(n=97)

	構成比 (%)
収集カレンダー (※1) を見る	80.4
分別の手引き (※2) を見る	63.9
市のホームページを見る	17.5
市役所に電話で聞く	12.4
その他	2.1

(※1) 収集カレンダー

毎年全戸配布している冊子で、お住まいの地域の収集日やごみの出し方を掲載しています。

(※2) 分別の手引き

現在は本庁舎や市民事務所等で配布しています。平成22年(2010年)に全戸配布した冊子で、ごみの分別方法や出し方を詳しく掲載しています。

ごみ・資源物の分別方法が分からない時、どう対処しているか聞いたところ、「収集カレンダーを見る」が約8割(80.4%)と最も多く、次いで「分別の手引きを見る」が6割強(63.9%)であった。

【その他】

○マンション管理人に問合せる。

問 10 家庭用ごみ・資源物収集カレンダーは毎年全戸配布を行っていますが、このカレンダーの良い点や改善が必要な点がありましたらご記入ください。（自由記述）

【良い点】

- 可燃ごみなのか、何のゴミで出したらいいのか分からない時に書いてあるので助かる。（20 歳代）
- イラスト付きで分かりやすく、見やすい点。（20 歳代）
- イラストがあり見やすい。（20 歳代）
- イラストが豊富で分かりやすく、大きさもちょうど良い。（20 歳代）
- 非常に見やすく満足している。（30 歳代）
- 非常に使いやすく重宝している。（30 歳代）
- イラスト付きでパッ！と見ただけで分かりやすく良い。詳しい分別のページでは写真もありお年寄りに優しいと思う。（30 歳代）
- ごみの分別が写真で載せられていて分かりやすい。清掃事業所の電話番号もあり利用しやすい。（30 歳代）
- 見やすい。下部にも出し方が書いてあり助かる。（30 歳代）
- 分別について情報がひと目で分かるようになっており欠かせない。（30 歳代）
- 「毎週〇曜日」とか「第 1・3・5〇曜日」の記述にすると、紙も減らせると思うが、カレンダーで毎日チェックする方が出し忘れがなくより見やすい。（40 歳代）
- 分かりやすい。全戸に配布される点。（40 歳代）
- 分かりやすく作られている。イラストで表示されているのが良い。（40 歳代）
- 分かりやすいので良いと思う。（40 歳代）
- イラストもあり、分かりやすい。（40 歳代）
- 分かりやすい。（40 歳代）
- 写真が掲載されていてとても分かりやすい。（40 歳代）
- 見やすいので今のままで問題ないです。（40 歳代）
- 分かりやすいし、今のままで十分。（40 歳代）
- 分類が分かりやすい。（40 歳代）
- 見やすいので普段使いのカレンダーとしても使用している。（40 歳代）
- 見やすい。（50 歳代）
- 分かりやすい。（見やすい）（50 歳代）
- ゴミ資源物収集カレンダーを活用し、ゴミ出しするのに便利。（50 歳代）
- 眼で見てイメージしやすい。（50 歳代）
- イラスト入りでとても見やすいと思う。カレンダーの中には注意点もあって分かりやすい。（50 歳代）
- 見やすい。（50 歳代）
- 月ごとのカレンダーで分かりやすい。（50 歳代）
- カレンダーに 1 日 1 日細かく収集するものを書いてあるので、分かりやすい。（50 歳代）
- 絵も描いてあり、パッと見て分かりやすいと思う。（50 歳代）
- 見やすいサイズ、表示の仕方でそのまま貼りだしておいて便利に使っている。（50 歳代）
- 分別が分かりやすく良い。（50 歳代）
- 収集日やごみの出し方がよく分かる。（60 歳代）
- イラストが簡潔。スケジュールの下に様々な情報がある。（60 歳代）

- イラスト入りで見やすい。(60 歳代)
- 大きさも良いと思う。(60 歳代)
- イラストがついていて、分かりやすい。(60 歳代)
- 慣れてきたので変更はしない方が良い。(70 歳代)
- 今までどおりで良いと思う。(70 歳代)
- とても分かりやすく使いやすい。(70 歳代)
- 大変分かりやすい。(70 歳代)
- カレンダーを一枚一枚剥がし易い。表裏にカレンダーが印刷されて、使いやすい。(70 歳代)
- 良くできていると思う。(80 歳代)

【改善が必要な点】

～掲載情報の追加等～

- 書籍が新聞と雑誌・雑紙・紙パックのどちらに該当するのか分かりにくい。以前、ホームページで調べたことがあるため書籍のイラストも追加するとさらに分かりやすいと考える。(20 歳代)
- 2018 年度のカレンダーと一緒に記載されていた税金の支払い期日の表記を復活させてほしい。(30 歳代)
- 分別をもう少し詳細に。(50 歳代)

～カレンダーや文字の大きさ等～

- 大き過ぎる。(30 歳代)
- 例えば割れてしまったお皿が出た時、忘れないように次回の不燃ゴミの欄に、「お皿」などメモしている。メモしやすいように、少しそれぞれのマークを小さめにしてもらえると、文字が書きやすい。(40 歳代)
- カレンダーのサイズを大きくするともっと見やすくなる。(40 歳代)
- 高齢者向けにサイズの大きい（絵や文字サイズを大きくする）カレンダーを作る。（希望者にのみ配布する。）(60 歳代)
- お年寄り用の文字の大きいサイズがあっても良いのではないかと思います。(60 歳代)

～その他～

- キッチンに置いてある為、毎年水滴がつき、ふにゃふにゃになってしまうのが、どうにかならないかと思っていた。(30 歳代)
- 収集カレンダーよりも一定期間ごとに手引きがほしい。(30 歳代)
- 配布にコストがかかるのではないか。(50 歳代)
- ホームページでも見れるなら、そちらで確認することにする。(50 歳代)
- 使いやすいが、うちでは、カレンダーを一月毎に切り取って使っているので、カレンダーが月毎に切り取り式になってると助かる。(50 歳代)

問 11 市は、ミクロネシア連邦チューク州ウェノ島のごみ問題改善に向け、技術支援を行っています。（※）この取り組みについて知っていますか。（○は１つだけ）

（n=97）

	構成比（％）
知っている	11.3
知らない	88.7

（※）事業開始までの経緯と事業概要

ミクロネシア連邦チューク州は太平洋に浮かぶ島々から構成され、美しい自然が残っている一方、ごみの収集・処分・資源化などのごみ処理システムが十分に構築されていないため、ごみ問題が深刻化していました。

これまで現地には、八王子市職員が青年海外協力隊員として赴任したほか、本市で使用していたごみ収集車両を外務省の制度を利用して寄贈。平成 29 年度（2017 年度）からは、JICA（独立行政法人国際協力機構）草の根技術協力事業のもと、3 年プロジェクトとして事業実施しています。

本事業は学園都市である本市の特長を活かし、市内大学（公募により決定）との協働のもと、全 6 回の現地派遣（本年 12 月が最終派遣）と現地関係者を本市に招く国内研修を 1 回実施。住民への啓発活動やごみ収集業務の改善などに取り組んでいます。なお、本事業に係る経費は JICA が負担します。

市が、ミクロネシア連邦チューク州ウェノ島のごみ問題改善に向け、技術支援を行っていることを知っているか聞いたところ、「知っている」が 1 割強（11.3％）、「知らない」が 9 割近く（88.7％）であった。

問 12 市が海外のごみ問題改善に向けた支援を実施することについてどう思いますか。（○は１つだけ）

（n=97）

	構成比（％）
賛成（⇒問 12－1 へ）	69.1
反対（⇒問 12－2 へ）	5.2
どちらともいえない	25.8

市が海外のごみ問題改善に向けた支援を実施することについてどう思うか聞いたところ、「賛成」が 7 割弱（69.1％）と最も多く、次いで「どちらともいえない」が 2 割台半ば（25.8％）であった。

【問 12 で「賛成」とお答えの方に】

問 12-1 それはどのような理由からですか。

(○はいくつでも)

(n=67)

	構成比 (%)
国際協力に取り組むことは必要と考えるから	80.6
国際協力の経験を市民や子どもたちに伝えることができるから	40.3
国際協力に取り組む市に対し誇りがもてるから	32.8
市内の大学や企業などのノウハウを活かすことができるから (※)	28.4
国際協力の経験を市内での外国人に向けた啓発などに活かせるから	16.4
その他	7.5

(※) 本事業における市内の大学や企業との関わり

本事業は、大学の専門的な見識を活用した、現地でのより効果的な啓発活動を展開するため、公募により決定した創価大学とともに実施しています。また、道路の未整備によりごみが収集できない地域の問題を改善するため、競争入札により決定した市内企業のノウハウを取り入れています。

市が海外のごみ問題改善に向けた支援を実施することについて「賛成」の理由を聞いたところ、「国際協力に取り組むことは必要と考えるから」が約8割（80.6%）と最も多く、次いで「国際協力の経験を市民や子どもたちに伝えることができるから」が約4割（40.3%）であった。

【その他】

- ごみ問題は地球全体の課題だから。
- 地球環境問題上重要なテーマなので。
- 全世界が協力・団結。
- 先進国として当然。
- 他人に教える事によって改めて自分達の行っている事を再確認する事ができ、他の視点から現在の問題点や改善点等が見えてきそうだから。

【問 12 で「反対」とお答えの方に】

問 12－2 それはどのような理由からですか。

(○はいくつでも)

(n = 5)

	構成比 (%)
他に優先的に実施する事業があると考えから	80.0
事業によって市民にもたらされるメリットを感じられないから	60.0
市が国際協力を行う必要はないと考えるから	40.0
その他	60.0

市が海外のごみ問題改善に向けた支援を実施することについて「反対」の理由を聞いたところ、「他に優先的に実施する事業があると考えから」が8割（80.0%）と最も多く、次いで「事業によって市民にもたらされるメリットを感じられないから」が6割（60.0%）であった。

【その他】

- 国が行うならともかく、市が国際協力する必要性を感じない。
- 分別に費やされるエネルギーは膨大であり、メリットはないと考えるため。
- 被災地が出るゴミ問題など、国内で地方自治体が横つながりしてゴミ問題に対処すべきが、優先順位としては高いと感じるから。

問 13 ごみの減量・資源化のために、あなた自身が行っていることや、今後、市に取り組んでほしいことについて、ご記入ください。
(自由記述)

【あなた自身が行っていること】

～リサイクル・分別等～

- なるべく再利用できるものは再利用し、リサイクル資源は綺麗な状態を出すよう意識している。(10 歳代)
- ゴミの分別、リサイクルは幼少期から現在までずっと行っている。(20 歳代)
- 市が指示している分別方法にしっかり則るようにしている。(20 歳代)
- リサイクルを意識したゴミの分別を意識している。(30 歳代)
- ゴミの分別に行っている。買い物をする際はエコバッグを持っていく。(40 歳代)
- 自分自身では、分別を徹底すること。(40 歳代)
- 分別は細かく気を付ける。(40 歳代)
- 修理できる物などは、極力修理して長く使い続ける。(40 歳代)
- 資源ごみは洗って（又は汚れを可能な限りとりのぞいて）から出している。洋服、本はリサイクルショップにまず持っていく。(50 歳代)
- リサイクルができる物はリサイクル資源として出している。(50 歳代)
- 分別は細かくきちんとしている。家族にも協力を呼びかけている。(50 歳代)
- 分別を徹底したり、生協のリユースに協力したりしている。(50 歳代)
- 分別したゴミ出しをしているくらい。(50 歳代)
- 不要なものはなるべくリサイクルショップやバザーに寄付。(50 歳代)
- ゴミの分別を心掛けている。(60 歳代)
- 資源化できるように分別をしている。買い物時にマイバッグを持参している。(60 歳代)
- 牛乳の空き箱で椅子を作ったりしている。いらなくなれば、ばらして紙パックで出している。着なくなった呉服で、バック・襟巻などを作っている。(70 歳代)
- 分別して資源で出せる物と焼却できる物等にして出している。(70 歳代)

～買い物の際の取り組み等～

- 食材は必要な分だけ買うこと。トレーやパック、缶などをキレイに洗うこと。(20 歳代)
- レジ袋をもらわない。(20 歳代)
- リサイクルされたものを買っている。(20 歳代)
- 計画的に買い物をしている。(30 歳代)
- エコバッグの持参。(30 歳代)
- 小売店などで買い物をする時に、手持ちのバッグに入りそうであれば、包装は不要と伝えている。(40 歳代)
- ムダなものは買わないようにしている。(40 歳代)
- エコバッグをいつも持ち歩いている。(40 歳代)
- 簡易包装をお願いするようにしている。(40 歳代)
- 大きなゴミ袋をほぼ購入しないようにし、意識的にゴミを少なくしようとしている。(40 歳代)
- できるだけ分別している。シャンプー等のプラ容器の製品は詰め替え用を買っている。(50 歳代)

- 自分が必要な物だけを買う。食べるもの、洋服も同じ。(50 歳代)
- 使い捨てのものを買わない。食品は計画的に買い物している。(50 歳代)
- 食品ロスをゼロにすることを意識して買い物、調理している。また 100 均など手軽に物を手に入れることができるようになったが、本当に必要かを考えて購入するよう心がけている。最近はプラがとて多いことが気になっている。プラの減少に取り組めることがあれば積極的にやりたいと思う。(50 歳代)
- 購入時になるべく包装紙や袋などをもらわない。(50 歳代)
- 食品購入時にハシをもらわない。マイバックを持参する。(60 歳代)
- 買い物にはエコバッグを持参している。(60 歳代)
- プラゴミを出さないため、買い物袋を購入し、コンビニ袋の量を減らすようにしている。(70 歳代)
- 生ごみは水分を良く切る。食べる分だけ食材を買う。(70 歳代)
- ショッピングバッグを利用することくらい。(70 歳代)
- 資源化を考える必要はあるが、スーパー・コンビニで買い物する際になるべくプラスチックの入れ物は避けている。(80 歳代)

～食べきり・使い切り等～

- 食品ロスを減らす！買い物をしたら 1 週間の献立を決め、食料の使い忘れ防止にしている。やたらと冷凍しない！冷凍庫に入れておくと「直ぐ使わなくていい」という考えから使い忘れてしまう。(30 歳代)
- 食材を使いきる。食品を食べきる。(40 歳代)
- 古着については年 1 回、アウトレットにくる衣料支援プロジェクトに提供するようにしている。(大切に洋服を管理) 食品は必要な量しか買わない。食べきる。(50 歳代)
- キャベツ、レタスの芯は細かく切って味噌汁に入れている。新聞のチラシを使い水切りしている。(60 歳代)
- 生ごみの減量には問 7 で回答したとおりだが、作った料理はすべて食べるようにしている。もし残った時でも翌日にはすべて食べている。(70 歳代)

～その他～

- 生ごみのコンポスト、可燃ごみの水分を下げている。マイバックの使用とプラスチックが多用された食品をできるだけ避ける。(50 歳代)
- 私は孫と公園に行くとき、必ずビニール袋を持参して孫とごみを拾って帰える。日本がごみのない国だと世界中の人が認知しているが、それは各自持ち帰りを徹底してきた証だと思う。(60 歳代)
- なるべく家庭の中でごみを増やさない。(60 歳代)
- ごみを減らすように心がけている。(60 歳代)
- すべきことを守って、ルールの厳守。(80 歳代)

【市に取り組んでほしいこと】

～啓発・指導等～

- 市のごみ減量を目指した施策の成果を広く内外に宣伝し、市の内外にアピールすること。(20 歳代)

- ゴミはほとんどが一度燃やされてから他のものに再利用されると思うが、ではなぜ可燃ゴミと紙などに分けないといけないのか。少し豆知識等が分かるようにしてほしい。(30 歳代)
- 個人としてできる限りのこと（分別、エコバッグ、リサイクル）はしているが、まだできることがあるのであれば、八王子市の配付してくれる広報の冊子等で教えてほしい。(40 歳代)
- プラスチックごみの分別の啓蒙（特に男の人に）。(50 歳代)
- 飲食店などがどのようにしているか知りたい。スーパーマーケットの活動なども。(50 歳代)
- ゴミの減量の目標値を設定して、結果を市民に知らせ、やる気を起こさせる。(50 歳代)
- ごみの減量の必要性をもっと積極的に伝える。たとえば、小学校や中学校の公開授業等（イベント等）で親も一緒に学べるような機会があると良いのでは。(50 歳代)
- ゴミ収集の人数が減り、働いている人が大変そう。労働の負担が減るよう対策を考えてほしい。
学校での環境教育の成果なのか子供の環境意識は高いと思うが、スーパーで見ると多くの高齢者は、ごみの発生について考えずに買い物をしていて環境意識は相対的に低い。高齢者の環境意識を高める活動を行ってほしい。(50 歳代)
- 分別の手引の項目が足りないと思う。様々な品物が商品化され、金属・プラスチック・ゴムなど材料が混じっているものがあり、どれに分別されるのか分からない。リサイクル教育を八王子全体（保育所～老人会）が行える企画があってほしい。「資源化」として八王子はどのような取り組みをしているのか情報発信不足ではないか。以前、京王電鉄が切符から再生したベンチを構内に設置し「これは切符からできています」とコメントしていた。(60 歳代)
- 私自身は、分別ゴミ収集に協力しているが、地域の中でルールを守らないゴミ出しが見受けられるので、ごみについてのルールや取り組みについて、告知の徹底をお願いします。(60 歳代)
- 教育すること。小学生のうちからごみに関する教育を徹底することだと思う。核家族が増え、老人や弱者などにどう接して良いか分からない子どもが多い。注意する老人もいない。だからこそ学校で模範的なビデオを制作して学ばせてほしい。(60 歳代)
- コンビニ袋の代用品の開発。スーパーの台車を自宅に持ち帰れるよう、スーパー・コンビニへの協力指導を。(70 歳代)
- ゴミがどのような資源に再利用されているかをもっと広報したほうが良い。(70 歳代)
- 資源ごみ、焼却ごみの細かい物の分別物の内容情報が欲しい。(70 歳代)
- 有害ごみの処理・処分は、どのように行われているのか。発生量などを含め公表してほしい。(70 歳代)

～ごみ収集等への要望～

- ゴミの回収をなるべく毎日同じ時間にしてほしい。スーパー等のゴミ箱も、もっとキッチンと分別するように促すこと。(20 歳代)
- 回収忘れが多い。回収する時に袋の中のゴミを落として行ってしまう。(30 歳代)
- ペットボトルの回収を毎週にして欲しい。せめて6月も毎週にして欲しい。紙ゴミの回収を毎週にして欲しい。(30 歳代)
- 近所にもう1年以上放置してある冷蔵庫や洗濯機はいつなくなるのでしょうか。おそらく引っ越されて投棄した人はすでに居ないのでしょうが、市民のモラル向上を望む。(40 歳代)
- 缶と雑紙は毎週収集してほしい。(50 歳代)
- プラスチックのごみ袋の有料化。(50 歳代)

- 戸別回収を続けてほしい。ダストボックスはいつでも出せるが、「カラス」がゴミを散らかしていた。有料ゴミだともみを減らす。(60 歳代)
- 消火器や車載電池などを有料で良いから回収して欲しい。(70 歳代)
- 秋になるといちょうの葉が落ち、雨が降ると滑る。(80 歳代)

～新たな仕組み等の提案～

- 甲州街道のイチョウの落ち葉が凄いの、落ち葉を拾うイベントがあれば楽しいかなと思う。(20 歳代)
- ペットボトルとプラスチックの回収日を増やしてほしい。(30 歳代)
- 市の手引きは具体性があり理解しやすいので助かっている。市が資源化の促進をより進めるために、資源化する工場への助成や独自の工場整備など進めていただいき、資源化に関する周辺地域の代表的な市になってほしい。(30 歳代)
- 不法投棄や路上喫煙のようにポイ捨てにも罰則を設けてほしい。ゴミの減量や景観保護につながると思う。(30 歳代)
- 市内の飲食店のフードロスを削減するために市が音頭を取っていくことは重要であると思う。すでに何か対策を講じていれば教えて頂きたい。(30 歳代)
- レジ袋はゴミ袋として再利用しやすいが、洋服屋・パン屋などでもらう袋は再利用しにくいので使い回しをしやすい袋にかえてほしい。(40 歳代)
- 本を図書館に寄付できるようにしてほしい。(40 歳代)
- 市には、分別の手引き（平成 22 年）の更新を希望する。醤油やワサビなどの小さいプラ容器は、可燃ゴミであるとかの機会に知った。手引きに記載がないので記載してほしい。(40 歳代)
- 大手のスーパーなどは、マイバッグ持参が普及しているが、個人の小売店はあまり普及していないと感じる。しかも袋には店名が入っていたり、模様が入っていたりするので、透明、半透明の普通のビニール袋にすれば、古着古布回収などにも使用できリユースしやすいと思う。(40 歳代)
- 道端に放置されたゴミを集めるしくみ。(40 歳代)
- 資源化できるゴミの回収ボックス等をたくさん置いてほしい。（コンビニや駅など利用者が多く使う場所）(40 歳代)
- ゴミ処理機への補助の拡充。(40 歳代)
- 盗難自転車やバイクの放置などをシルバー人材の方の協力を得てリサイクルして学生の居る家庭で必要な人がもらえたりするシステムを構築したり、市内で乗り捨てできるステーションを設置して、もっと学生の自転車問題、駐輪場問題などを検討希望。生ゴミだけが、ゴミではないので。(40 歳代)
- 資源物収集と買い上げる仕組みを検討してはどうか。(70 歳代)
- 海外へ衣類・くつ・文具等を送る窓口があると良いと思う。(50 歳代)
- 樹木の再利用を希望する。焼却する木など利用して薪を作って販路を広げれば、利益が上がると思う。またパウダーにして多様なものと合わせて建材にするとか、今の日本の技術からすると、絶対可能なため、いろいろな用途が広がると思う。(70 歳代)
- 今回の台風等による河の中の材木や草等が海に流れだして汚れているのをテレビで見た。八王子市内でもボランティアを集めて定期的に清掃したら良いと思う。(70 歳代)

テーマ2 クリエイトホールの利用状況等について

生涯学習スポーツ部 学習支援課

J R八王子駅北口近くに生涯学習センターや図書館などが入るクリエイトホールという複合施設があります。この施設について、今後の管理、運営方法や施設改修の参考にさせていただくため、市政モニターの皆様にご意見をお伺いします。

問 1 クリエイトホールの所在地（八王子市東町、J R八王子駅から徒歩4分、京王八王子駅から徒歩4分）について、どのように考えますか。（○は1つだけ）

（n=97）

	構成比（%）
交通アクセスが良く便利である	32.0
自宅から遠いため他の施設を利用することが多い	17.5
中心市街地にあるため用事のついでに行きやすい	15.5
駐車場がないため利用しにくい	13.4
よくわからない	13.4
その他	7.2
【無回答】	1.0

クリエイトホールの所在地についてどう考えるか聞いたところ、「交通アクセスが良く便利である」が3割強(32.0%)と最も多く、次いで「自宅から遠いため他の施設を利用することが多い」が2割近く(17.5%)であった。

【その他】

- 狭いからか、閉鎖的な感じがする。
- あるのは知っているが利用しない。
- 利用しやすい場所だが、駐輪場をもう少し使いやすくしてほしい。
- 南大沢から八王子駅には不便なので一度も施設を利用したことがない。
- 家から遠く、使ったことがない。

問2 クリエイトホール内にある以下の施設で知っている施設はありますか。

(○はいくつでも)

(n=97)

	構成比 (%)
生涯学習センター図書館	55.7
生涯学習センター	45.4
子ども家庭支援センター（くりちゃん広場を含む）	25.8
消費生活センター	12.4
男女共同参画センター（ほっとタイムサービス[託児]を含む）	7.2
どれも知らない	28.9

クリエイトホール内にある施設で知っている施設を聞いたところ、「生涯学習センター図書館」が5割台半ば（55.7%）と最も多く、次いで「生涯学習センター」が4割台半ば（45.4%）であった。

問3 クリエイトホール内にある以下の施設で利用したことがある施設はありますか。

(○はいくつでも)

(n=97)

	構成比 (%)
生涯学習センター図書館	34.0
生涯学習センター（⇒問4へ）	20.6
子ども家庭支援センター（くりちゃん広場を含む）	12.4
消費生活センター	3.1
男女共同参画センター（ほっとタイムサービス[託児]を含む）	3.1
どこも利用したことがない	45.4

クリエイトホール内にある施設で利用したことがある施設を聞いたところ、「生涯学習センター図書館」が3割台半ば（34.0%）と最も多く、次いで「生涯学習センター」が約2割（20.6%）であった。

【問3で「生涯学習センター」を利用したことがあるとお答えの方に】

問4 生涯学習センターを、どのような目的で利用されましたか。（〇はいくつでも）

(n=20)

	構成比 (%)
講座の受講	55.0
イベントへの参加	50.0
サークル活動や個人での学習室等利用	40.0
会議や面接	25.0
展示会	20.0
行政サービスの手続き	5.0
学習相談	0.0
その他	10.0

生涯学習センターを、どのような目的で利用したか聞いたところ、「講座の受講」が5割台半ば(55.0%)と最も多く、次いで「イベントへの参加」が5割(50.0%)であった。

【その他】

○ピアカウンセリング1回のみ。

【以下全員に】

問5 生涯学習センターについて、どのような印象をお持ちですか。（〇はいくつでも）
(n=97)

	構成比 (%)
利用するきっかけがない	58.8
施設・設備が充実している	13.4
身近で親しみがある	11.3
魅力的な講座・イベントが行われていない	9.3
魅力的な講座・イベントが行われている	7.2
施設・設備が不十分	1.0
その他	6.2
【無回答】	4.1

生涯学習センターの印象を聞いたところ、「利用するきっかけがない」が6割近く（58.8%）と最も多く、次いで「施設・設備が充実している」が1割強（13.4%）であった。

【その他】

- 何をする施設かよく分からなかった。
- 一部の人が利用しているだけだと思う。
- 同じ八王子でもアクセスが悪いのでほとんど利用できない。
- 自宅から遠いため利用しづらい。
- 健康な人にとっては、使い勝手などについて他の市の施設（市民センター等）と変わらず、まあまあだと思う。高齢者等にとっては、駐車場がないことや駅から少し歩かなくてはいけない点が、不便だと思う。

問6 あなたが利用している市内の学習関連施設はどこですか。 (○はいくつでも)

(n=97)

	構成比 (%)
図書館	54.6
いちょうホールや南大沢文化会館など文化施設	24.7
市民センター	19.6
町会や自治会の会館	17.5
生涯学習センター (南大沢分館、川口分館を含む)	16.5
保健福祉センター	10.3
学園都市センター	5.2
その他	0.0
利用していない	24.7
【無回答】	1.0

利用している市内の学習関連施設を聞いたところ、「図書館」が5割台半ば(54.6%)と最も多く、次いで「いちょうホールや南大沢文化会館など文化施設」が2割台半ば(24.7%)であった。

問7 ご自身が学習活動(学習会・講習会・会議・説明会など)や文化芸術活動(発表・練習・創作など)ができる施設は市内に整っていると思いますか。 (○は1つだけ)

(n=97)

	構成比 (%)
そう思う	10.3
どちらかといえばそう思う	36.1
どちらかといえばそう思わない	13.4
そう思わない	5.2
わからない	34.0
【無回答】	1.0

学習活動や文化芸術活動ができる施設が市内に整っていると思うか聞いたところ、「そう思う」(10.3%)と「どちらかといえばそう思う」(36.1%)が合わせて5割近くを占め、次いで「わからない」が3割台半ば(34.0%)であった。

問 8 学習関連施設を利用する際に何を重視していますか。

(○は3つまで)

(n=97)

	構成比 (%)
交通アクセス	76.3
設備の充実	67.0
使用料金	61.9
施設の広さ	12.4
職員の接遇	7.2
その他	4.1
【無回答】	2.1

学習関連施設を利用する際に何を重視しているか聞いたところ、「交通アクセス」が8割近く(76.3%)と最も多く、次いで「設備の充実」が7割近く(67.0%)であった。

【その他】

○利用者や付近の施設。

○市民が自由に利用できる Wi-Fi の設置はどの施設でも必須になるのではないかな。

問 9 市民の生涯学習の拠点として、クリエイトホールの今後のあり方について、あなたの考えに一番近いものをお選びください。

(○は1つだけ)

(n=97)

	構成比 (%)
現在と同程度の規模・機能で維持した方が良い	30.9
規模・機能を拡充したほうが良い	20.6
施設は他にもあるので、必要ない	6.2
規模を縮小しても構わない	5.2
わからない	36.1
【無回答】	1.0

市民の生涯学習の拠点として、クリエイトホールの今後のあり方について、考えを聞いたところ、「現在と同程度の規模・機能で維持した方が良い」が約3割(30.9%)と最も多く、次いで「規模・機能を拡充したほうが良い」が約2割(20.6%)であった。

問 10 改修によって、クリエイトホールをさらに多くの市民に利用される魅力ある施設としていきたいと考えています。より多くの市民に利用されるようなご提案がありましたら教えてください。（自由記述）

～ハード面（設備等）の提案～

- 以前からホール内およびお手洗い（1階）が暗いイメージだった。改修されるのを初めて知り、良かったと思う。子を持つ親としてせめてくりちゃん広場ではオムツを捨てられるようにしてほしい。（セレオ内の「ゆめきつず」はごみ箱あり。）（30 歳代）
- 日光が入る明るい施設。今は暗いので。（40 歳代）
- 建物に入ると、照明のせいなのか、建物の構造のせいなのか、1階は暗く感じる。建物に入ると、日光が差し込むなど明るい造りにしてはどうか。（40 歳代）
- クリエイトホールに足を運びやすい、入りやすい施設にしてほしい。（50 歳代）
- 利用内容がよく分からないので、もっとPRしてほしい。少し暗いイメージがあるので、光を取り入れて館内を明るい雰囲気にしてはどうか。（50 歳代）
- 家から遠い為利用したことがなく、現状が分からなく提案しづらいが、和室や大きめのスクリーンを設置し暗室になるなど、多様な部屋があると良いと思う。（50 歳代）
- トイレは洋式にしたほうが良いと思う。そして清潔感と安心感が保たれる環境が大切だと思う。（60 歳代）
- 学習室を借りていたが、抽選なので月一などの定期での利用ができない。公平性を保つにはそうせざるを得ないのは承知できるので、小規模の学習室を増やしてほしい。（70 歳代）

～ソフト面（企画等）の提案～

- 遅い時間まで利用できるようにしてほしい。（30 歳代）
- 外国人との交流の場としてさらに機能することが望ましい。（30 歳代）
- ジムやフィットネスを作る。（30 歳代）
- 八王子駅から少し歩くので、わざわざ行かないというのが実状。しかし、子どもが小さい頃、数時間だが預りをしてくれる施設があり、とても便利と感じた。例えば「子ども食堂」を作ったり、小さな体育館で子ども同士の交流ができるようにしたり、児童の本をメインに置く図書館にするなど、「子ども」が通う場所というイメージにすると印象に残りやすい。色々な習い事を教える個人レッスンを開く場所として一部、場所を提供することもできると思う。（40 歳代）
- どの世代でも気軽に参加できるような企画があればいいと思う。まずは参加したことがないので、今後どのようなものか体験してみたい。（40 歳代）
- 色々な年代に対しての、内容のものなどを増やして欲しい。（40 歳代）
- 若い人たちが八王子に根付いた活動ができる場として、活用できる方法を考えて欲しい。（40 歳代）
- 社会人が出勤前、退社後に利用できるよう、早朝から深夜までの利用時間延長。（40 歳代）
- 魅力的で社会ニーズに合った学習講座や企画。（40 歳代）
- 高齢者向けだけでなくイベントの開催。（50 歳代）
- 府中の多摩交流センターのように使い易く、学習講座も市民目線の講座が多く、終了後も多摩市民交流が続くような”しくみ”があると良いと思う。（70 歳代）

～アクセス・駐車場等～

- 利用者は市営の駐車場を無料などにしてほしい。小さい子がいて、「くりちゃん広場」を利用したいがパーキングでお金を払ってまで利用しようとは思わない。(30 歳代)
- 自身が利用していないので、適切か分かりませんが、超高齢化社会での生涯学習を考えた場合、学習内容の充実化は無論ですが、利用してもらうための「足」の提供が必要かもしれません(無料バスなど)。(30 歳代)
- やはりなんといっても駐車場がないのが不便なので、あればもっと利用できると思う。(40 歳代)
- 駐車場の設備をもう少し考えてほしい。(50 歳代)
- 京王堀之内駅から八王子駅行きのバスが出ていたら行くかもしれない。(60 歳代)
- 駐車場があると良いと思う。(60 歳代)
- 市外へのアクセスが悪いので魅力がない。(70 歳代)

～周知等～

- 利用したことがないので、もっとたくさん情報を知らせてほしい。(40 歳代)
- もっと皆さんに、アピールをした方が良いと思う！意識が高い方以外は、関心がないと思う。まず、意識を向かせるところから。(40 歳代)
- 掲示/回覧板での案内。(50 歳代)
- クリエイトホールを知らなかった。もっとアピールしてほしい。(50 歳代)
- まだ知らない人もいるので、もう少し広報した方が良いのでは。(50 歳代)
- 図書館しか知らなかった。他の利用法の認知度が低いと思うが、広報等を見れば載っているのかもしれないが、ほとんど見ていない。(50 歳代)
- 名前からして何をしている施設か分かりにくい。更に HP などを分かりやすくして PR が必要かと思う。(50 歳代)
- 避難所として登録して一度市民の方々に見学してもらい、アピールしていけば少しは新しい人が参加していくかも。(70 歳代)
- 一般市民への広報の徹底と使用の為の申し込み方法の分かりやすさ。(70 歳代)

～その他～

- 若年層にとって魅力的な場所にもしてほしい。(20 歳代)
- クリエイトホールの存在を今回初めて知った。八王子市は広く、私のように八王子駅周辺に行かない人にとってクリエイトホールが魅力ある施設となっても今後も活用する可能性は低い。一つの施設を魅力ある施設にするよりも小規模な施設を八王子市内にたくさん作ってほしい。(20 歳代)
- 利用したことがないので分かりません。(50 歳代)
- 個人的には映画が好きなので映画やビデオを観たい。(60 歳代)
- 維持費用の問題もあり、提言し難いが、規模が小さく、多くの利用者が利用する総合施設としては不適格と思う。(60 歳代)

テーマ3 市・都民税出張申告受付等について

税務部 住民税課

市の収入の大宗を占める市民税の確保は、市政運営の根幹をなすものです。公正・公平で、市民に信頼される課税制度を実現していくためには、市民の皆様からの適切な市民税・都民税の申告が必要になります。

「市民税・都民税申告書」は提出する義務のある方（※37 ページのフローチャートをご確認願います。）が八王子市役所本庁舎（元本郷町 3-24-1）へ直接持ち込みによる提出が原則となっています。

また、市民の方の申告の利便性・効率性の向上のため、郵送での受付及び市内の 14 か所で「市民税・都民税申告書」の出張申告受付も行っています。

今後、より利便性・効率性を高め、期限内申告の推進と申告機会の拡大を図っていきたいと考えているため、市民税・都民税出張申告等に関する市政モニターの皆様のご意見をお聞かせください。

問 1 市民税・都民税申告期間の指定日に市役所本庁舎以外の市内 14 ヶ所（※）で出張申告の受付が行われていることを知っていますか。（○は 1 つだけ）

（n=97）

	構成比（％）
知っている	48.5
知らない	51.5

（※）市民税・都民税申告 出張申告受付会場（計 14 ヶ所）

1 月末から 2 月末までの指定日の 9 時から 12 時、13 時から 16 時の時間帯に出張申告受付を実施しています。

【会場】

浅川市民センター、横山事務所、館事務所

由木中央市民センター、由木東市民センター、南大沢市民センター

元八王子事務所、恩方事務所、川口事務所、加住事務所

北野事務所、由井事務所、石川市民センター

八王子駅南口総合事務所

市民税・都民税の出張申告の受付が行われていることを知っているか聞いたところ、「知っている」が 5 割近く（48.5%）、「知らない」が 5 割強（51.5%）であった。

問2 市民税・都民税申告の際、出張申告を利用したことがありますか。(○は1つだけ)

(n=97)

	構成比 (%)
利用したことがある (⇒問2-1へ)	20.6
利用したことがないが、今後利用したい (⇒問2-1へ)	16.5
利用したことがなく、今後も利用しない (⇒問2-2へ)	62.9

市民税・都民税申告の際、出張申告を利用したことがあるか聞いたところ、「利用したことがなく、今後も利用しない」が6割強(62.9%)と最も多く、次いで「利用したことがある」が約2割(20.6%)であった。

【問2で「利用したことがある」または「利用したことがないが、今後利用したい」とお答えの方に】

問2-1 出張申告を利用した、または利用してみたいと思う理由をお答えください。

(○はいくつでも)

(n=36)

	構成比 (%)
申告会場が近いから	69.4
本庁申告会場が混んでいるから	30.6
申告書の記入方法や提出資料について相談ができるから	27.8
その他	8.3

出張申告を利用した、または利用してみたいと思う理由を聞いたところ、「申告会場が近いから」が7割弱(69.4%)で最も多く、次いで「本庁申告会場が混んでいるから」が約3割(30.6%)であった。

【その他】

○細かなことが分からないので、質問したい。

【問2で「利用したことがなく、今後も利用しない」とお答えの方に】

問2-2 出張申告を利用しない、また利用したいと思わない理由をお答えください。
(○はいくつでも)
(n=61)

	構成比 (%)
市民税・都民税申告をしたことがない、またはする必要がない	70.5%
本庁申告を利用する、または利用したいから (⇒問2-2-1へ)	13.1%
郵送で申告を行う、または行いたいから	8.2%
その他	11.5%

出張申告を利用しない、または利用したいと思わない理由を聞いたところ、「市民税・都民税申告をしたことがない、またはする必要がない」が約7割(70.5%)で最も多く、次いで「本庁申告を利用する、または利用したいから」が1割強(13.1%)であった。

【その他】

- 税務署で申告するため。
- 申告を税理士に依頼している。
- 会計事務所をお願いしている。
- 現在は確定申告を行っている。
- 職場で対応してくれるため、利用する必要がない。
- 確定申告を etax でしている。その時同時に市民・都民税の申告が行われていると思っているから。

【問2-2で「本庁申告を利用する、または利用したいから」とお答えの方に】

問2-2-1 本庁申告を利用する、または利用したい理由をお答えください。

(○はいくつでも)

(n=8)

	構成比 (%)
申告会場が近いから	50.0
本庁だと申告に必要なとなる証明書を発行できるから	50.0
出張申告会場が混んでいるから	25.0
その他	12.5

「本庁申告を利用する、または利用したいから」とお答えの方に、その理由を聞いたところ、「申告会場が近いから」及び「本庁だと申告に必要なとなる証明書を発行できるから」がともに5割(50.0%)で最も多かった。

【その他】

○本庁には安心感があるから。

問3 市民税・都民税については、利便性を考慮して、郵送による申告書の提出も可能です。市民税・都民税申告書を郵送で提出できることを知っていますか。

(○は1つだけ)

(n=97)

	構成比 (%)
知っている	33.0
知らない	67.0

市民税・都民税申告書を郵送で提出できることを知っているか聞いたところ、「知っている」が3割強(33.0%)、「知らない」が7割近く(67.0%)であった。

問4 市民税・都民税申告書を郵送で提出したことがありますか。 (○は1つだけ)

(n=97)

	構成比 (%)
提出したことがある (⇒問4-1へ)	6.2
提出したことがないが、今後利用したい (⇒問4-1へ)	23.7
提出したことがなく、今後も利用しない (⇒問4-2へ)	70.1

市民税・都民税申告書を郵送で提出したことがあるか聞いたところ、「提出したことがなく、今後も利用しない」が約7割(70.1%)と最も多く、次いで「提出したことがないが、今後利用したい」が2割強(23.7%)であった。

【問4で「提出したことがある」または「提出したことがないが、今後利用したい」とお答えの方に】

問4-1 市民税・都民税申告書を郵送で提出した、またはしてみたいと思う理由をお答えください。 (○はいくつでも)

(n=29)

	構成比 (%)
出張申告・本庁申告共に混んでいるから	48.3
受付時間内に会場に行くことができないから	44.8
申告会場が近くにない、または交通手段がないから	6.9
その他	17.2

市民税・都民税申告書を郵送で提出した、またはしてみたいと思う理由を聞いたところ、「出張申告・本庁申告共に混んでいるから」が5割近く(48.3%)で最も多く、次いで「受付時間内に会場に行くことができないから」が4割台半ば(44.8%)であった。

【その他】

○簡単だから。

○便利そうだから。

【問４で「提出したことがなく、今後も利用しない」とお答えの方に】

問４－２ 市民税・都民税申告書を郵送で提出したことがなく、してみたいと思わない理由をお答えください。（○はいくつでも）

（n＝68）

	構成比（％）
記載方法や添付資料の確認ができないから	35.3
書類が確実に届くか不安だから	27.9
受付書（※）を受け取ることができないから	11.8
その他	35.3
【無回答】	1.5

（※）受付書

市民税・都民税申告を受け付けたことを証明する書類。

市民税・都民税申告書を郵送で提出したことがなく、してみたいと思わない理由を聞いたところ、「記載方法や添付資料の確認ができないから」が３割台半ば（35.3％）で最も多く、次いで「書類が確実に届くか不安だから」が３割近く（27.9％）であった。

【その他】

- 自分の手で納めたい。
- 申告する必要があるから。
- 公認会計士にまかせている。
- 自分で申告する必要があるから。
- 息子の扶養に入っているため、必要ないから。
- 税理士をお願いしている。
- 会社で申告しているので。
- 学生のため。
- 現在は確定申告を行っている。
- 確定申告を etax でしている。その時同時に市民・都民税の申告が行われていると思っているから。
- 会社の給与から天引きになっているから。
- 支所に行けば問題ないので。逆に郵送代などが発生しないために支所の活用を促すべきでは。

問5 「確定申告書（※）」は税務署に提出する書類ですが、市民税・都民税出張申告の会場でも便宜的にお預かりし、市から税務署へ転送しています（確定申告書の内容・書き方の相談はできません）。「確定申告書」を市民税・都民税出張申告の会場で提出できることを知っていますか。

（○は1つだけ）

（n=97）

	構成比（%）
知っている	38.1
知らない	61.9

「確定申告書」を市民税・都民税出張申告の会場で提出できることを知っているか聞いたところ、「知っている」が4割近く（38.1%）、「知らない」が6割強（61.9%）であった。

（※）確定申告書

国（税務署）に対して行う所得税申告の書類

問6 「確定申告書」を市民税・都民税出張申告受付の会場で提出したことがありますか。

（○は1つだけ）

（n=97）

	構成比（%）
提出したことがある（⇒問6-1へ）	17.5
提出したことがないが、今後利用したい（⇒問6-1へ）	18.6
提出したことがなく、今後も利用しない（⇒問6-2へ）	63.9

「確定申告書」を市民税・都民税出張申告受付の会場で提出したことがあるか聞いたところ、「提出したことがなく、今後も利用しない」が6割強（63.9%）と最も多く、次いで「提出したことがないが、今後利用したい」が2割近く（18.6%）であった。

【問6で「提出したことがある」または「提出したことがないが、今後利用したい」とお答えの方に】

問6-1 「確定申告書」を市民税・都民税出張申告受付の会場で提出した、またはしてみたいと思う理由をお答えください。（○はいくつでも）

(n=35)

	構成比 (%)
確定申告書類の提出のみのため、待ち時間が短いから	71.4
市民税・都民税出張申告受付の会場が近いから	45.7
普通郵便だと税務署へ申告書類が届いたか確認ができないから	14.3
その他	0.0
【無回答】	2.9

「確定申告書」を市民税・都民税出張申告受付の会場で提出した、またはしてみたいと思う理由を聞いたところ、「確定申告書類の提出のみのため、待ち時間が短いから」が7割強（71.4%）で最も多く、次いで「市民税・都民税出張申告受付の会場が近いから」が4割台半ば（45.7%）であった。

【問6で「提出したことがなく、今後も利用しない」とお答えの方に】

問6-2 「確定申告書」を市民税・都民税出張申告受付の会場で提出したことがなく、またしてみたいと思わない理由をお答えください。（○はいくつでも）

(n=62)

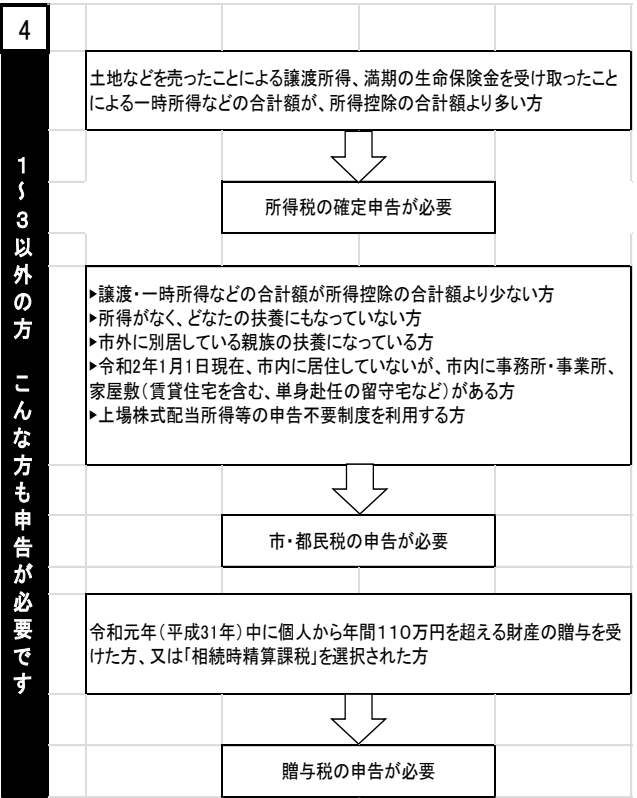
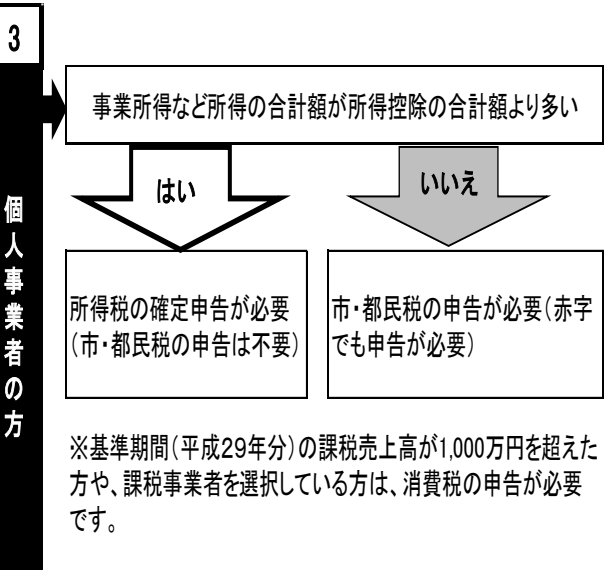
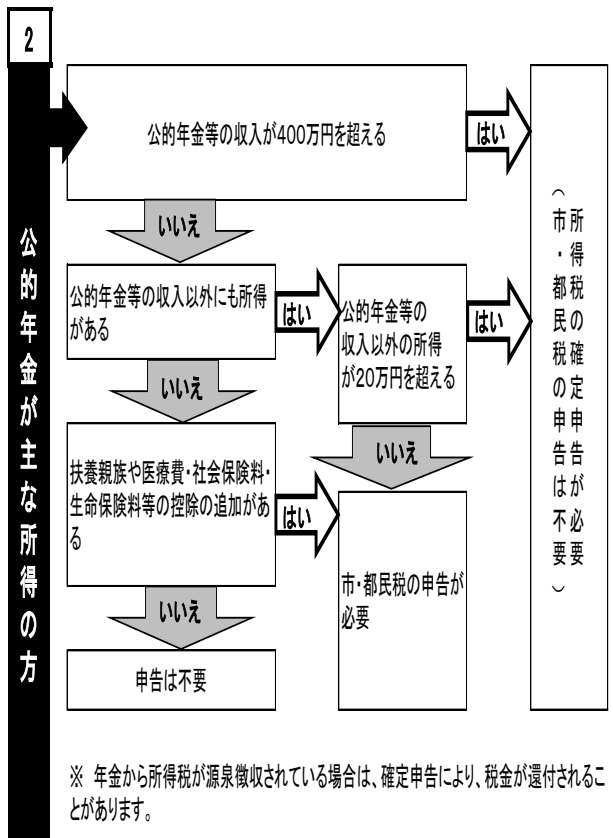
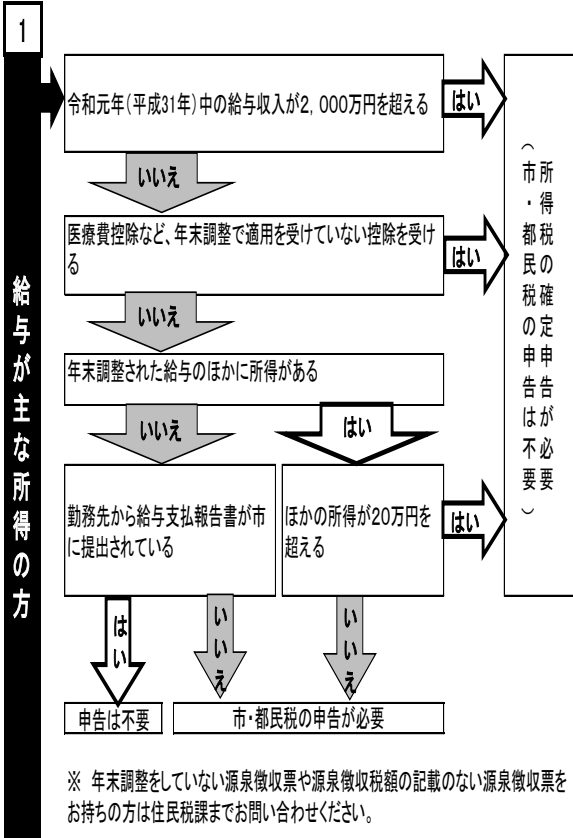
	構成比 (%)
税務署へ提出するから（窓口・郵送・電子申告等）	48.4
確定申告をする必要がないから	37.1
確定申告書類の提出のみで、記載内容等の確認を行えないから	12.9
その他	11.3

「確定申告書」を市民税・都民税出張申告受付の会場で提出したことがなく、またしてみたいと思わない理由を聞いたところ、「税務署へ提出するから（窓口・郵送・電子申告等）」が5割近く（48.4%）で最も多く、次いで「確定申告をする必要がないから」が4割近く（37.1%）であった。

【その他】

- 分かりやすすくないため。
- 青色申告もあるため。
- 税理士にお願いしている。
- 学生のため。

所得税・市民税・都民税等の申告フローチャート(下図は一般的な例です)



テーマ4 市長との対話集会について

総合経営部 広聴課

市では、市民の方から市長が直接まちづくりについてのご意見やご提案を伺う対話集会として、毎年5月・6月に「市長と語る」（※）を開催しています。

現在は、事前にご提案やご意見を記載した「発言申込書」を提出いただき、発言をお願いした市民の方に対して、市長が回答する形式で行っています。また、傍聴者は当日どなたでも参加できる集会形式で開催していますが、その他の形式での開催について検討を行っています。

より市民ニーズに沿った市長との対話集会を実施し、市民の皆様と市との協働のまちづくりをさらに進めるため、市政モニターの皆様のご意見をお伺いします。

（※）「市長と語る」の開催について （令和元年度（2019年度）実績）

5月～6月の土曜日に全4回開催

会場：八王子駅南口総合事務所、元八王子市民センター体育館、由木東市民センター体育館、由井市民センター体育館

周知方法：「広報はちおうじ」に掲載、町会自治会をとおしてチラシの配布等

問1 市長と直接対話をし、市民の皆様のご提案やご意見を伺う方法として、あなたが参加しやすいと思う形式はどれですか。（○は2つまで）

（n=97）

	構成比（％）
市長が市政の実績や今後の予定を説明し、それに対してご提案やご意見を伺う公聴会・説明会形式	45.4
テーマに沿って、少人数のグループ（町会・自治会、学校、趣味サークル、子育てサークル等）での座談会形式	38.1
テーマに沿って、大人数での集会形式（＝現在の形式）	24.7
テーマは自由に、少人数のグループ（町会・自治会、学校、趣味サークル、子育てサークル等）での座談会形式	19.6
その他	6.2
【無回答】	2.1

市長と直接対話をし、市民の提案や意見を伺う方法として、参加しやすいと思う形式を聞いたところ、「市長が市政の実績や今後の予定を説明し、それに対してご提案やご意見を伺う公聴会・説明会形式」が4割台半ば（45.4%）と最も多く、次いで「テーマに沿って、少人数のグループ（町会・自治会、学校、趣味サークル、子育てサークル等）での座談会形式」が4割近く（38.1%）であった。

【その他】

○インターネットを用いた説明会形式。 (20 歳代)

○事前に質問を聞いて答えを用意する形式は国会のようで、市長の考えを聞くことができないような気がする。祭りのときに、ひざを突き合わせて話したらどうか。 (60 歳代)

問2 テーマを決めて実施する場合、あなたはどの分野のテーマに関心がありますか。 (○はいくつでも)

(n=97)

	構成比 (%)
まちづくり・防災・防犯・交通環境	60.8
子育て・教育・生涯学習・文化	51.5
福祉・障害者・高齢者・保健医療・市民生活・社会保障制度	47.4
地域コミュニティ・協働・市民サービス・行財政運営	38.1
環境・地球温暖化対策・ごみ	33.0
産業の振興・観光	19.6
その他	1.0
【無回答】	2.1

テーマを決めて実施する場合に、どの分野のテーマに関心があるか聞いたところ、「まちづくり・防災・防犯・交通環境」が約6割（60.8%）と最も多く、次いで「子育て・教育・生涯学習・文化」が5割強（51.5%）であった。

【その他】

○八王子市の発信力を高める活動について。 (60 歳代)

問3 現在、10代～30代の若い世代の方からの市政への提言が少ないことから、より多くいただけるような工夫を検討しています。若い世代の方から市政に対する提言等をいただくためには、どのような工夫が必要だと思いますか。(自由記述)

～インターネットやSNSの活用～

- 若い世代はネットをよく利用しているので、市のホームページ等を上手く使い、情報を配信したり、イベント等をもっと開催した方が良いと思う。(20歳代)
- 市役所が平日の短い時間しか開いていないため、学校や仕事等の都合で行きにくいことが多い。インターネット等を用い、直接市役所に行かなくてもいつでも意見を届けられる取り組みが必要だと思う。(20歳代)
- インターネットで謝礼付のアンケートを行う。(20歳代)
- 若い世代は学校や仕事で手一杯な時期。ホームページで簡単に市へ意見を提言できるようにすれば良い。(20歳代)
- まず、市政への提言をできることを知らなかった。SNSからの発信・コメント欄やダイレクトメッセージで提言できるなどすると増えるのではないかと。(30歳代)
- 市議がしっかりと動くことが大事だと思う。また、SNSなどで意見を言える仕組み作りが大切だと思う。(30歳代)
- SNSを活用して発信するだけでなく、意見や要望を集める。(30歳代)
- SNSを上手に利用する。市政に親しみよりも、もっとフランクに話せるような教育や活動を行う。(30歳代)
- ネットでの意見提言。(30歳代)
- 若い世代はネット社会で生きているが、市に興味をもってもらうためにホームページやSNSなどを通して情報発信するだけでなく、アクセスさせる工夫、たとえば、個々がアクセスすることで何らかの利益が得られるなどを考えていくと良いのではないかと。(30歳代)
- SNS等を利用する。若い世代にも興味のわく企画など(ゲーム感覚でできれば楽しめそう)市民向けアプリなどでアンケートなど回答する度にポイントがたまったら何かに利用できれば楽しく参加できるのでは?たとえばたまったポイントでゴミ袋などと交換できるとか。(40歳代)
- インターネットやSNSの利用。提言に対するフィードバック、報酬。(40歳代)
- SNSなどの、スマホやパソコンで行える方法を考える必要がある。(40歳代)
- インターネットで受け付ける。目安箱のようなものを市のホームページに開設してはどうか。(40歳代)
- 提言する場所がない(知らない)ので、若い世代が提言しやすいネットに書き込めるようにすれば良いのではないかと。(40歳代)
- 若い世代にアンケートを行う。(市役所や出張所は若い世代も利用するので)ネットなどを利用して意見を聞くのも良いと思う。(40歳代)
- ゲーム方式とか、LINE等のネットなどを上手く利用できないか。(50歳代)
- SNSを活用し、市政を若い世代の感覚と言葉で発信し、リアルタイムでコメントに反応できる体制の整備。40歳代、50歳代の感覚が時代遅れな事を認め、変化に対応する新しい組織を整えるべき。(50歳代)
- 学校を通じた発言の機会の創出、SNSなどを利用した意見収集。(50歳代)

- SMS、LINE、Facebook など若い世代はほとんどこれらのメディアを使っている。これらを活用しないとコミュニケーションが取れなくなっているのではないかと。(60 歳代)
- SNS の利用。(60 歳代)
- フェイスブックなどでテーマと背景を説明して提言やコメントを求める。(60 歳代)
- ネットで。(70 歳代)

～教育関係～

- 学校教育で市政に興味を湧くような授業を行い、自分も市民の一人であると教えて行かないといつまでも変わらないと思う。(20 歳代)
- 学校の授業で時間をつくる。(20 歳代)
- 市政を身近に感じてもらうため、大学との交流をより積極的に企画してはどうか。(30 歳代)
- 学校教育で市政への参加・提言の重要性を学習させる。(50 歳代)
- 10 代など学校へ行っている場合、道徳の時間などに先生が中心にアンケートや作文を書いてもらう。20 代、30 代は提言をする代わりに何かいい事の見返りがあるとか・・・市政に意見をしたくなるようなタイミング的なモーションを考える。(50 歳代)
- 例えば、学校ではごみの分別などを教育していても、実際、孫は徹底できていない。その原因は孫の親がしっかりしていないから。親も含めた教育をすべきだと思う。(50 歳代)
- 中学校や、高等学校等に協力を仰ぎ授業の一環として参加してもらう。(50 歳代)
- 学校教育現場で、八王子の歴史やなりたち、現在の産業特性等を告知し、ディベートする時間を増やす。子供の時から『八王子』に興味を持たせる努力をして欲しい！(60 歳代)
- 大変難しい問題だが、八王子に住めば安心、安定した生活できる環境づくりをして、小学校・中学校からの教育。(70 歳代)
- 学生が多いので、学校別に実施を検討する。留学生との実施。新しく八王子に就職した人の話し合い等。(70 歳代)

～市政への関心の喚起・周知等～

- 高齢者優遇から若者優遇政策へ重点を置いた市政の転換。スマホ、SNS による情報発信。市民の提言から実現したことの積極的アピール。広報をやめ、市長や市議自らが動画で情報発信を頻繁に行う。若い世代からの提言が活発な市町村の成功事例の調査、分析。電子意見箱、電子投票システム（市民世論調査等）の導入。(40 歳代)
- 市政に興味を持たせるような工夫が必要。(50 歳代)
- 市政への関心、興味をもってもらよう、学生は学習プログラムに組み込むなど工夫する（ことができれば）。(50 歳代)
- その対象年齢から、意見を求めるのは難しいと思う。市政への興味関心が少ない者に対し、市政の理解を求める工夫が必要だが、この工夫は古の時代からの課題であり、一朝一夕に起死回生のアイデアが出てくるものではない。市政への興味を引くような小さなアピールを地道に継続していくことで、その世代が将来適切な政治参加、市政への提言をするようになることを期待することではないか。(60 歳代)
- 若い人達が八王子市に興味を持つ土壌（土台）がないと、ただ” 提言” を求めようと方策を練っても、広くかつ継続的に意見を集めることが難しいと思う。そのためには若い人達に魅力ある” 街作り” を重点的積極的に進めることが大切と思う。そうすれば、自然に意見や提案が生まれてくる。(70 歳代)

○学園都市といっても、単に広い市域にキャンパスがあるというだけ。学生祭りみたいな広範囲のイベントをアクセスが一番いい場所で開催して、学生主体の活動をやり資金的にも頼れる八王子市にならないと学生の関心が向いてこない。(70 歳代)

～その他～

○若い人にこのアンケートを配信するまたはこんな活動を始めた！などを掲示板に貼るなどして関心を高める。(10 歳代)

○市政への参加の声かけを行う。(10 歳代)

○「大人になるため」ということを踏まえて言ってねというような誘導はマイナスになると思います。10 代～30 代の意見を深掘りしていく体勢が欲しいと考える。(20 歳代)

○気軽に提言ができる方法を作ることと、そもそも市民が市政に提言できることを広く認知させることが必要。(20 歳代)

○子ども家庭支援センター等にハガキなど置いてあると良い。市役所などに意見箱を設ける。すでにある場合は気づかない場所にあるのでは。(30 歳代)

○どのようにお知らせしているのか分からないが、提言する場の存在自体を知らない人が多いと思う。自分もあったことを知らなかった。まずは認知してもらう事が肝心なのではないか。(30 歳代)

○休日対応。アンケート回答で市内で利用できる商品券などを配布。公共施設以外でも、駅前施設や若い世代が出かける施設で場所を借りて何か取り組みを行う。議員を年代ごとに一定割合で選出する仕組みを作る。(30 歳代)

○今の若い人は忙しいし無理だと思う。昔と違って共働きだし、仕事と育児で忙しい。(30 歳代)

○このモニターアンケートのように、八王子市から直接アンケートを送付して郵送してもらえれば良いと思う。自分の意見に耳を傾けてもらえる貴重な機会だし、普段の生活を見直すきっかけになる。(40 歳代)

○学校での説明。スマホでの意見収集。同世代の芸能人からの発信。提言が聴き入れられることが伝わるような説明。(40 歳代)

○学校・大学・病院等で対象になる年齢の人にアンケートを配って記入してもらったらどうでしょうか。(40 歳代)

○引き受けてくれる会社を見つけ、会社から若い方に、声をかけてもらう。(40 歳代)

○事前に意見提出など堅苦しいものではなく、お菓子など食べながら、自由に話す座談会など、工夫してみても。(40 歳代)

○魅力やニーズに合致しない為、愛着が湧かないと感じている。住みやすさや、働きやすい環境の準備などが必要となるため。(40 歳代)

○在宅から声を伝えられる仕組みの確立。(40 歳代)

○市政が市民一人ひとりの意見・発言等を総括したうえで成り立っていることを（そのはずですが）若い世代にきちんと理解してもらう必要があるのでは。イベントでのアンケートの実施（おまけ付だと効果的！？）やインターネットでの発信（市民のこんな声からこんなことが実現しました等の実績）目にする機会が増えること。今の生活に反映していることを知ることが大切だと思う。(50 歳代)

○八王子にある会社などから意見を募集する。(50 歳代)

○高校生代表、大学生代表、社会人 5 年生、社会人 10 年生など、市内の学校や企業に協力してもらい、世代の意見を聞けたら良いのでは。代表者の選出。(50 歳代)

○その年代の関心のある内容を調査し、それについての提言を呼びかける。(50 歳代)

- 子育て世代は忙しい。子どもを安心して預けて市政への提言をしてもらう。たぶん色々あると思う。
保育園の送迎時は無理。運動会などの時に聞きに行くのはどうか。(60 歳代)
- 例えば成人式、一人ひとりに問いかけたらどうか。壇上からおめでとうと言うだけでは、心に残らないと思う。マイクを差し向けてどう思いますか？と。(60 歳代)
- 魅力ある人づくりにあると思う。ほめて引き出してのぼす、人づくりの原点があると思う。今、私たち高齢者が余り物を言わなくなったように思う。核家族になって相談する相手も少ない、言える相手がいない。だから言わない。暗い時代だと思う。目上の人の尊厳が失われている。当然若い人に影響が出ていると思う。一言で教育の失敗だと思う。日本の精神が失われている。(70 歳代)
- 若い人が興味を引く催事などとドッキングしてイベントにして意見を募る。(70 歳代)
- 各家庭で市政について話し合うことが望ましい。しかし現状を考えた場合にゆとりが無さ過ぎる。
時間を掛けて草の根活動的に進められないだろうか。(70 歳代)
- 子ども、若い人が楽しめるようにしてほしい。(80 歳代)

令和元年度（2019 年度）市政モニター
第 2 回アンケート結果
令和 2 年（2020 年）2 月

発行 八王子市総合経営部 広聴課
八王子市元本郷町三丁目 24 番 1 号
電話 042（620）7411（直通）
F A X 042（620）7322